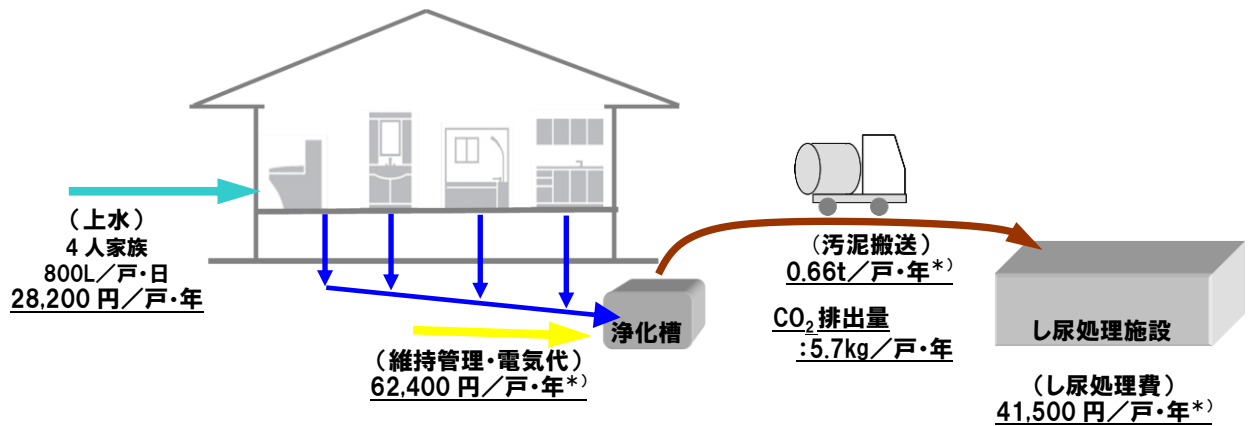


浄化槽による処理の現状とのエコ・サニテーションシステムの導入による効果

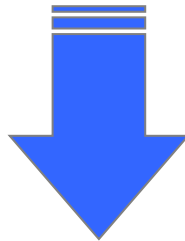
* 現状



*上勝町 処理量 565.8t/年。町内世帯数 862 世帯として試算 (H23 年度)

(課題)

- ・汚泥搬送やし尿処理施設が必要
- ・放流水質の向上
- ・コスト削減



(対策)

- ゴミ分別の視点から排水について検討。
⇒ ・し尿を分けて処理を行う。
・発酵分解を行なう。

* エコ・サニテーションシステム



上水使用量の削減、汚泥発生量の削減による広域運搬とし尿処理経費および CO₂ 発生量の削減、さらに、し尿を分けて処理するため、高い窒素・リンの除去率が期待され、放流水質が向上する。